

『スマートシティの電磁環境対策』発刊(2012年12月10日)記念!

高周波時代の電磁環境と 代表的シールド対策及び関連市場動向

後援 カワサキテクノロジー

EV・HEV、スマート家電、スマートホン、タブレット端末、RFID……。電子部品、電子機器に多くのポリマー材料が使われています。顧客ニーズの変化をとらえるには、これまでの知識に加え、電磁気の基本知識が欠かせません。

本セミナーでは高周波時代の電磁環境を基本的に理解し、代表的なシールド対策である機能めっきの具体例に触れつつ、次世代のEVやスマート端末分野の諸材料と各種部品のシールド関連の市場動向の考察に配慮したものになっていますのでご参加の程よろしくお願いたします。

日時 2012年12月14日(金) 13:15~16:50
会場 ゲートシティ大崎(東京・大崎駅すぐ) B1階 ルームB
受講料 21,000円(税込) *資料代を含む

講師

岩井 通

(有)カワサキテクノロジー、元・住友電気工業(株)。

電磁波技術、特に高周波帯における材料からアンテナ、および無線通信技術までの試作評価を含む研究開発の実績を持ち、環境電磁工学(一言で言うと電子機器の電磁波ノイズ)においても知見を持つ。また、電磁波に関係した研究を行う大学とも面識を持つ。講演実績多数。

基礎的な事柄をわかりやすく講演することで好評を博す。

塚田 憲一

星和電機(株)、塚田理研工業(株)、(株)技研で問題を移る、シプレイ・ファースト(株)

川崎 徹

(有)カワサキテクノロジー 代表。

このセミナーは

プログラム

第1部 電磁気・電磁波の基礎事項と電磁環境

岩井 通氏 13:15~15:00

電磁気学・電磁波の基礎事項を化学屋さん、営業マン向けに、極少数式を使わないで、感覚で理解できるように解説する。また、材料の高周波特性についても解説し、電磁波ノイズなどの電磁環境についても基本事項の解説を行う。

第2部 プラスチックの電磁波シールドめっき技術の最新用途を巡って

塚田 憲一氏 15:10~16:00

プラスチックの電磁波シールドめっきが初めに採用されたのは軍用ガスケットである。1985年IBMがパソコンの筐体に無電解銅1ミクロン、無電解ニッケル0.25ミクロンという、極めて薄いめっきをつけ3mmのアルミ板に匹敵する

シールド工法として広く使われた。自動車電子コントロール技術の進歩そしてハイブリッド車、電気自動車の登場とともに電磁波シールドめっきの技術は車の軽量化シールド対策にとって重要な要素技術となりうる、その技術概要と課題についてまとめてみた。

第3部 EMC部品とシールド放熱対策品の課題と市場展望

川崎 徹氏 16:00~16:50

EVとスマート端末などのシールドや放熱対策は益々重要になっている。先端分野のシールドや放熱対策の課題を踏まえて、これら市場の今後を占ってみたい。

終了しました

セミナー申込用紙 セミナー名: ST121214 (高周波電磁環境)

DM

会社名 団体名			
部署・役職			
ふりがな		住所	〒
氏名			
TEL		FAX	
E-mail	*申込みに関する連絡に使用するため、可能な限りご記入ください。		
無料E-mail案内(書籍・イベントの最新情報)を <input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない <input type="checkbox"/> 登録済			
*E-mailアドレスが必須です。			
通信欄			
		支払方法	
		<input type="checkbox"/> 振込	
		<input type="checkbox"/> 当日現金	
		*銀行振込の場合は振込予定日を記載ください	
		月 日	

*左記ご記入の上、**FAX 03-3261-0238**までお申込みください。
 *E-mailアドレスまたはFAX番号を必ずご記入下さい。

■お申込み方法

必要事項をご記入の上、FAXでお申込みください。または当社ホームページからお申し込みください。

■受付完了のご連絡

受付完了後、3営業日以内にお申込確認とあわせ、請求書、受講券、会場案内図を添付したE-mailをお送りいたします。

■お支払

銀行振込または、当日会場での現金払いにてお願いいたします。受講料のご入金は、開催日までお願いいたします。やむなく開催日以降にご入金の場合は、お申込みの際に振込予定日を記載ください。

銀行振込の場合、領収証の発行はいたしません。

■個人情報の取り扱い

ご記入の個人情報は、商品の発送、事務連絡、ご案内等に使用いたします。